

**平成21年度
大阪医科大学医師会総会報告**

中央検査部 村尾 仁

日 時 : 平成21年5月18日(月)18時30分～
場 所 : 第2会議室(総合研究棟12階)
議 長 : 米田 博(副会長)

1・平成20年度事業報告(河野会長)

1) 医大医師会の充実

大阪府医師会において勤務医の発言権を高めるために、会員数に比例して割り当てられる代議員数を獲得することが重要である。

医師会費の徴収方法を郵便振替から自動引落しに移行していない会員に対し、24時間利用可能なコンビニ収納を試行したが、会費納入率は向上しなかった。

2) 医大医師会の学術活動

「大阪医科大学医師会報」(年2回発行)の特集として第30号(9月発刊)では「地域連携クリニカルパスについて」を、第31号(3月発刊)では「女医たちのラウンドテーブルディスカッション 円女医(エンジョイ)」を掲載した。

北摂四医師会医学会の分科会は、「北摂形成外科懇話会」と「北摂肝疾患地域医療セミナー」が新設され分科会数は11となり、研究会を計13回開催した。ホームページを立ち上げ今年度は第一段階として、研究会等の日程とプログラムの掲載を開始し、アナウンスに努めた。その記録集として「北摂四医師会医学会記録集」(年1回発行)を発行した。産業医講習会も5回(うち4回は前述研究会)開催した。

3) 大阪府医師会・在阪5大学医師会・地域医師会との連携強化

高槻市医師会と座談会「地域連携クリニカルパスについて」を実施し、会報30号に掲載した。

大阪府医師会の郡市区等医師会長協議会や代議員会、勤務医部会第二ブロックをはじめとする各種委員会に積極的に参加した。

平成18年に発足した全国大学医師会連絡協議会の総会が3月28日(土)に東京医科歯科大学医学部で開催され、河野会長が参加した。在阪5大学医師会懇談会は、平成20年度には開催されなかった。

4) 60周年記念事業の推進

昭和46年5月に図書館に寄贈したウルゴス大型時計の修理を行った。

2・平成20年度会計報告(白田会計)

全会一致で承認された。

3 . 平成 2 0 年度監査報告 (臼田会計)

全会一致で承認された。

4 . 平成 2 1 年度事業計画 (河野会長)

1) 大阪医科大学医師会の充実

会員増員に向け、新入職者への入会勧誘を実施する。また、会員情報の正確性向上を図る。

医師会費滞納者が依然 1 割程度いるので、会費納入方法を銀行自動引落としのみとして、この方法に移行しない会員には退会を促すものとして、会則を改定することが承認された。

旅費規程を設け、今後も規程を充実させていく。

事務連絡会を毎月 1 回開催し、会長・会計・理事と事務局の連絡を密に行っていく。

2) 大阪医科大学医師会の学術活動

前年度に引き続き、「大阪医科大学医師会報」(年 2 回発行)、「北摂四医師会医学会記録集」(年 1 回発行) を行う。

北摂四医師会医学会としては、各分科会の充実を図り、新しく 4 つの分科会を開設する。ホームページも充実させていく。

「大阪府医師会地域医療活動支援事業研究助成」に公募し、高槻市医師会と共同研究を行う。

3) 在阪 5 大学医師会・地域医師会との連携強化

在阪 5 大学医師会との懇談会への参加は元より、高槻市医師会と共同研究するなど地域医師会とも連携を深めていく。

例年通り、大阪府医師会都市区等医師会長協議会、大阪府医師会代議員会、大阪府医師会勤務医部会第二ブロック、大阪府医師会各種委員会、ならびに全国大学医師会連絡協議会等にも参加する。

4) 6 0 周年記念事業の推進

60 年史を発行し、当医師会の沿革等も掲載する。

学会等助成金制度を新設し、年間 5 件、1 件あたり 10 万円を上限に助成する。

5) 理事について

佐野理事辞任に伴い、新任は平松昌子氏(一般・消化器外科) に決定した。

5 . 平成 2 1 年度予算案 (臼田会計)

全会一致で承認された。

6 . その他

特になし。